

年明けに誰が今のような状態を想像しえたのでしょうか？

まさに明日のことも分からない世の中になってしまいました。

9年前の東日本大震災の時に、この世の無常を感じ、方丈記の冒頭の記事を何度も読み返したことが、昨日のこのようです。「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし」

また、最近蓮如上人の書かれた白骨の御文の一節がここに響きます。「朝には紅顔ありて夕には白骨となれる身なり。すでに無常の風きたりぬれば、即ち二つの眼たちまちに閉じ、一つの息ながく絶えぬれば、紅顔むなしく変じて、桃李の装いを失いぬるときは、六親眷属あつまりて嘆き悲しめども、さらにその甲斐あるべからず。」

自分を守ることが他の人を守ることになることを、これほど切実に感じたことはありません。



【最近目立つ病気】

インフルエンザは学校の休校措置と手洗い、マスク、咳エチケットの励行で例年より早く、ほぼ終息しました。その他の感染症も溶連菌感染症を除いてほとんどみられなくなっています。溶連菌感染症も家族内感染が多いようです。手洗い、マスク、咳エチケットが予防にいかにも有効があらためて分かりました。家庭でのうがいも有効です。しかし集団でのうがいは飛沫が飛び散るので勧められません。4月に入って、保育園は休園ではないので、新入園児は普通感冒で発熱する児が目立ちます。

【新型コロナウイルス感染症】

1. コロナウイルスとは？

風邪の原因として有名なウイルスで、感染しても軽い風邪で済むことがほとんどです。一方で、SARSとMERSという重篤な感染症を引き起こしたことがあります。

2. 感染経路

ヒト-ヒト感染の中でも、飛沫感染が想定されています。これはインフルエンザを筆頭に一般的な風邪と同じ感染経路です。飛沫感染する病原体は接触感染もするので手洗いは欠かせません。

【飛沫感染】

咳やくしゃみをしたときに、口や鼻から飛び出す細かい水滴を介して感染します。空気感染と異なり、2m以上病原体が飛ぶことはほとんどありません。

【接触感染】

皮膚や粘膜から病原体に汚染された環境を介して感染します。新型コロナウイルスが手に付着した状態で目や口を触ると感染が成立します。

3. 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2、2019-nCoV)の感染力

「一人が周囲の何人に感染を広げるかを数値化したもの」に基本再生産数(R0:アールノート)というものがあります。暫定値ではありますが、2020年1月29日に発表された論文では新型コロナウイルスのR0は2.2と報告されています。これは季節性のインフルエンザとほぼ同等で、SARSより低い数字となっています。ただし、今後のデータ解析によってこの数字は更に変わってきます。

4. 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2、

2019-nCoV)の致死率

暫定値ながら現在のところ新型コロナウイルスの致死率は2-3%程度となっています。この数字は決して小さくないですが、過去のSARS(9.6%)やMERS(34.4%)と比較すると小さいものとなっています。

5. ワクチン

今のところワクチンは存在しませんが、世界的流行の背景を踏まえて世界各国でワクチン開発の動きが見られています。すでに新型コロナウイルスの分離に成功しており、空前のスピードで製造がなされる可能性があります。

6. 治療方法

抗ウイルス薬は今のところありません。症状が非常に強い人にはその状態から回復させるような治療(支持療法)を行い救命します。抗HIV薬や抗インフルエンザ薬、気管支喘息の吸入ステロイド薬が有効であったという報告があるため、この事実を踏まえて検証の段階に入っています。



7. 有効な予防方法

一般的な風邪と全く同じで、何よりも手洗いとマスクの着用です。特に咳や痰の症状がある人は周囲にうつさないようにマスク着用・咳エチケットを心がけてください。「体調が悪い人と不必要に接触しないこと」や「自分の体調が悪いときには自宅にいること」も大切です。

8. その他

このウイルスに感染したら致命的というわけではありません。多くの人(およそ8割程度)は軽症で済むようで、中には無症状の人もあります。国内で判明している感染者は2月中旬までは中国湖北省に関連する人が中心でしたが、現在は二次感染者、三次感染者が見られています。疑わしい症状(発熱、咳、呼吸困難、味覚・嗅覚障害など)が出ても、新型

コロナウイルスによるものというよりは単なる風邪によるものの可能性のほうが高いです。特別な理由がない限り、濃厚接触者や感染者の多い国に関連した人以外はPCR検査を受ける必要性は低いです。とはいえ、今後二次感染者(既感染者からうつされた人)や三次感染者(二次感染者からうつされた人)が増えてきた場合には検査を受けるべき人も変わってきますので、最新流行状況には注意が必要です。

手洗い・マスク・咳エチケットを徹底すること・三密(密閉・密集・密接)を避けること

手洗いの徹底、マスクと咳エチケットを行うようにしてください。この心がけ一つで、自分だけでなく周囲の人(特に重症になりやすい高齢者・基礎疾患のある人)に感染をうつさないようにすることができます。今後の状況によって、もちろん対応は変わってきますが、皆で流行を阻止するように努力しましょう。

<https://medley.life/news/5e390f2d6158e140a8122862/>より、一部改変



☆西念の駅西福祉健康センター内の金沢広域急病センター(TEL:222-0099)では午後7時30分から11時まで、小児科と内科の診療を年中無休で行っています。加畑の担当は5/6(当番医として)・5/12・5/21の予定です。

☆金沢市では乳幼児の任意接種のワクチン(ロタウイルス・おたふくかぜ・インフルエンザ・B型肝炎)についての助成金制度を行っています。詳細は受付でお尋ね下さい。

☆世界の宝「憲法9条」を次の世代に贈りましょう。

